

外部壁（ポーチ壁）や内壁に穴を開ける方法

文書管理番号：1288-01

Q. 質問

外部壁（ポーチ壁）や内壁の一部に穴を開けたい。


A. 回答


外部壁（ポーチ壁）や内壁の一部に穴を開けるには、建具の「開口」を配置する方法と、腰壁+下り壁などの複合壁を配置する方法があります。

ここでは、玄関ポーチの壁に穴を開ける方法を説明します。



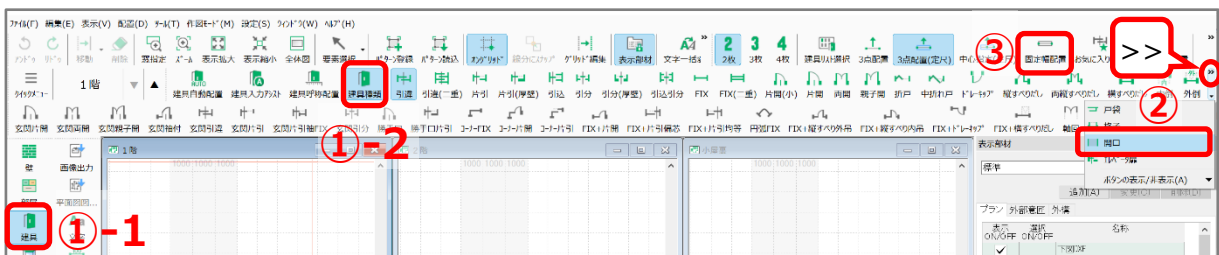
* 上図は建具の開口で穴を開けています。

 (プラン図)で壁や部屋などの入力が完了している状態から説明します。

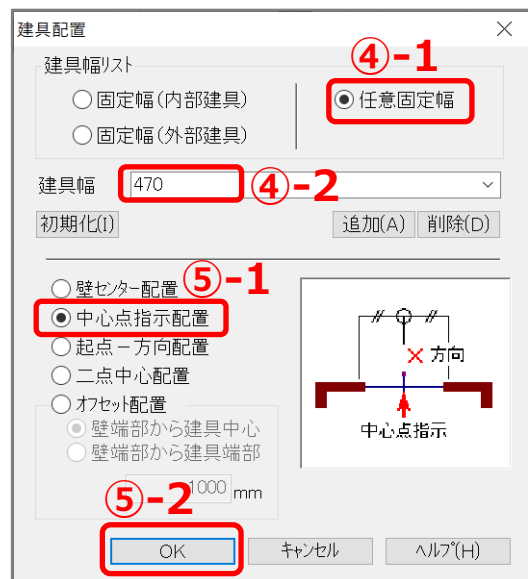
今回は玄関ポーチの壁に穴を開けるため、壁は  (ポーチ壁)で入力します。

操作手順：建具の「開口」を配置する方法

- ① (建具)をクリックし (建具種類)をクリック
- ② (開口)をクリック
 - * 画面レイアウトにより表示位置が異なります。画面に表示されない場合は図のように「>>」をクリックして表示してください。
- ③ (固定幅配置)をクリック
 - * 建具配置の画面が表示されます。



- ④ 「任意固定幅」をクリックし、建具幅を入力
 - * ここでは、「470」と入力します。
- ⑤ 「中心点指示配置」を選択して「OK」をクリック
 - * ここでは「中心点指示配置」を選択しましたが配置しやすい方法を選択してください。



【参考】

建具幅は建具がとりつく柱の芯々幅を入力します。

今回は開口幅 300mm の穴を開けるため、開口「300」mm に左右それぞれ逃げ幅「85」mm (柱+サッシ枠+あそび) を加算し、建具幅「470」mm (300+85+85) で設定します。

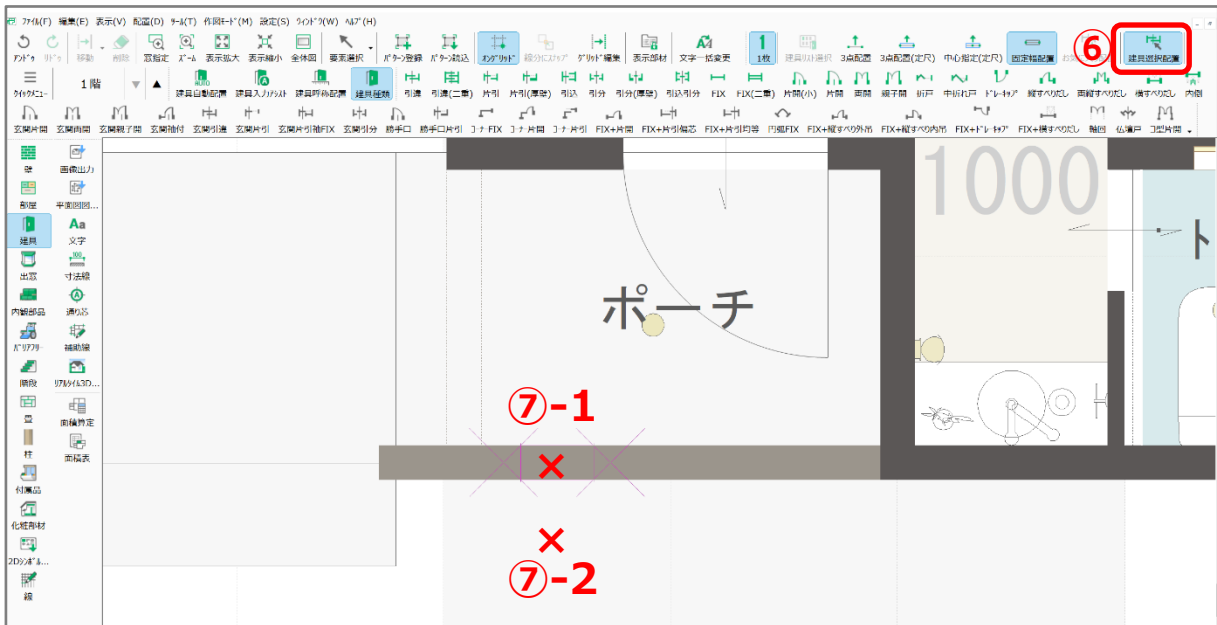
建具の逃げ幅について、詳しくはこちらをご覧ください。

[\[1249\] 建具の各寸法について](#)

⑥ (建具選択配置)をクリック

- * すでに (建具選択配置)が選択されている場合はクリック不要です。

⑦ 開口の中心としたい位置でクリックして、外側でクリック



- * 高さ・詳細情報設定の画面が表示されます。

高さ・詳細情報設定の画面は、 (物件概要)の3/4 ページ目「建物仕様」パネルの「建具部材指定」のチェックの有無により異なります。

- * ここでは、マウスのスナップする位置で開口を配置しているため、補助線の入力は行いませんが、必要に応じてあらかじめ (補助線)を入力してから開口を配置してください。補助線の入力方法については、[こちら](#)をご覧ください。

[\[1036\] 間くずれの間取りの入力方法 \(補助線・グリッド編集の利用\)](#)

⑧ 上端高、開口高を設定

* ここでは、上端高「2300」mm、開口高「1000」mmと設定します。

上端高は部屋の床高からです。ポーチに (部屋) で外部の部屋を設定している場合、室内の部屋同様、床高が設定されているため、設定している床高からの上端高を入力します。

(部屋) を設定していない場合は横架材天端からの高さを入力します。

⑨ 面材を「フラッシュ」に設定し、柄名を選択して「OK」をクリック

高さ・詳細情報設定 **<建具部材指定を使用していない場合>**

高さ設定 詳細情報

建具名称 開口

上端・建具高さ

⑧ 上端高 2300 mm 呼称寸法(U)...

開口高h 1000 mm 呼称寸法(T)...

建具高H 1030 mm

建具幅

内法幅w 300 mm 建具幅W 348 mm

欄間

欄間の取付け

吊束

無目 0 mm

欄間 0 mm

枠形状 四方 三方

枠種類 額縁 クロス巻

面材・柄

面材

サッシ フラッシュ 戸襖 障子

樹脂 ガラス 襖

⑨-1

メーカー 利ダテ

柄名 枠

障子種類

角出し 無し

柄一覧(L)...

ガラス設定 ⑨-2 OK キャンセル ヘルプ

高さ・詳細情報設定 **<建具部材指定で入力した場合>**

建具選択 詳細情報

規格外建具

絞り込み条件

メーカー オリジナル

建具種類 開口

内部・外部 外

出入隅 標準

部屋 標準

扉窓・掃出 掃出

⑨-1

面材 フラッシュ

柄名 枠

障子柄

⑧

障子

上端高 2300

付属品 単体

建具幅W 340 mm

種類

建具高H 2020 mm

開口高h 1000

ガラス仕様 Low-E複層ガラス

内法幅w 300

鍵仕様 (未設定)

欄間無目高 0 mm

枠形状 四方 三方

欄間高 0 mm


枠種類 額縁 加え巻

中心 左 右 0

吊元変更 方向変更

⑨-2 OK キャンセル ヘルプ

* 柄名は「枠」または「塗廻」から選択します。ご希望の表現により選択してください。

⑩  (3D パース)を起動して確認



* ここでは、2か所に開口を配置しています。

操作手順：複合壁を配置する方法

外部腰壁+下り壁などの複合壁を利用して開口を表現する場合、複合壁を配置する位置にあらかじめ補助線を配置します。

補助線の配置間隔は実際の開口幅ではなく、壁厚を考慮した「開口幅+壁厚」で入力します。

そのため、壁厚の確認と補助線の配置も含め操作手順を説明します。

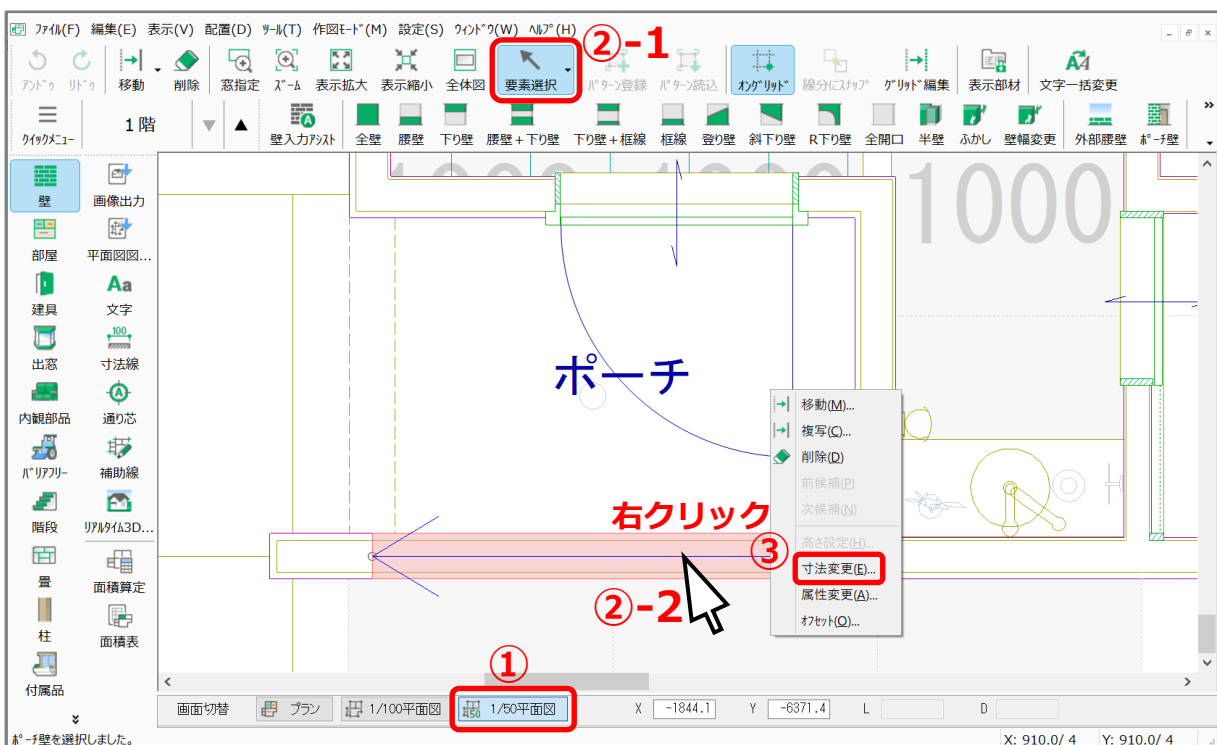
① プラン図の画面表示「1/50 平面図」をクリック

- * ここでは壁の厚み、実際の開口幅が確認できるよう「1/50 平面図」の画面表示で作業を行います。

② (要素選択)をクリックし、ポーチ壁をクリック

- * 穴を開けるポーチ壁を選択します。

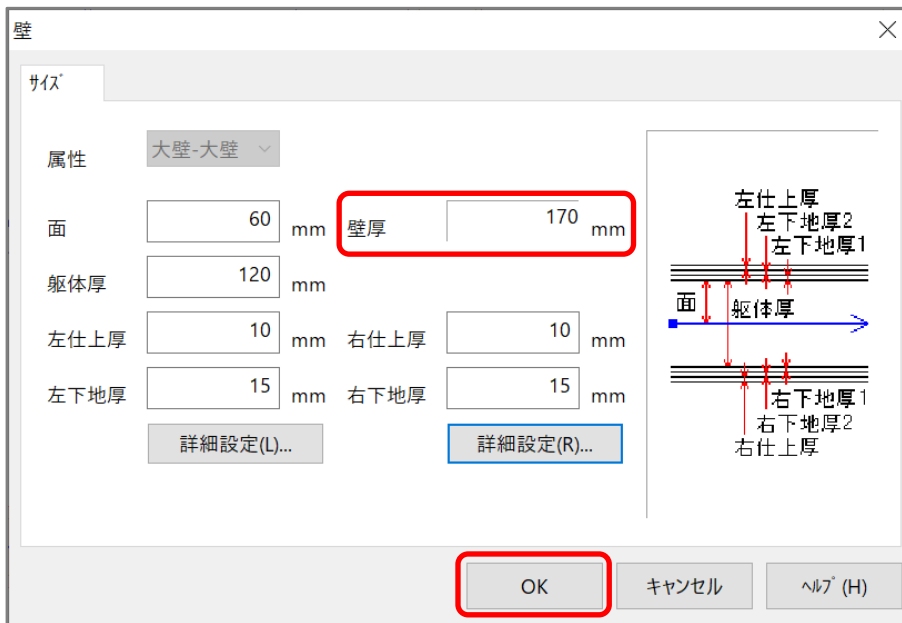
③ 右クリックメニューの「寸法変更」をクリック



- * 壁の画面が表示されます。

④ 壁厚を確認し「OK」をクリック

* ここでは、壁厚が「170」mmであることを確認します。

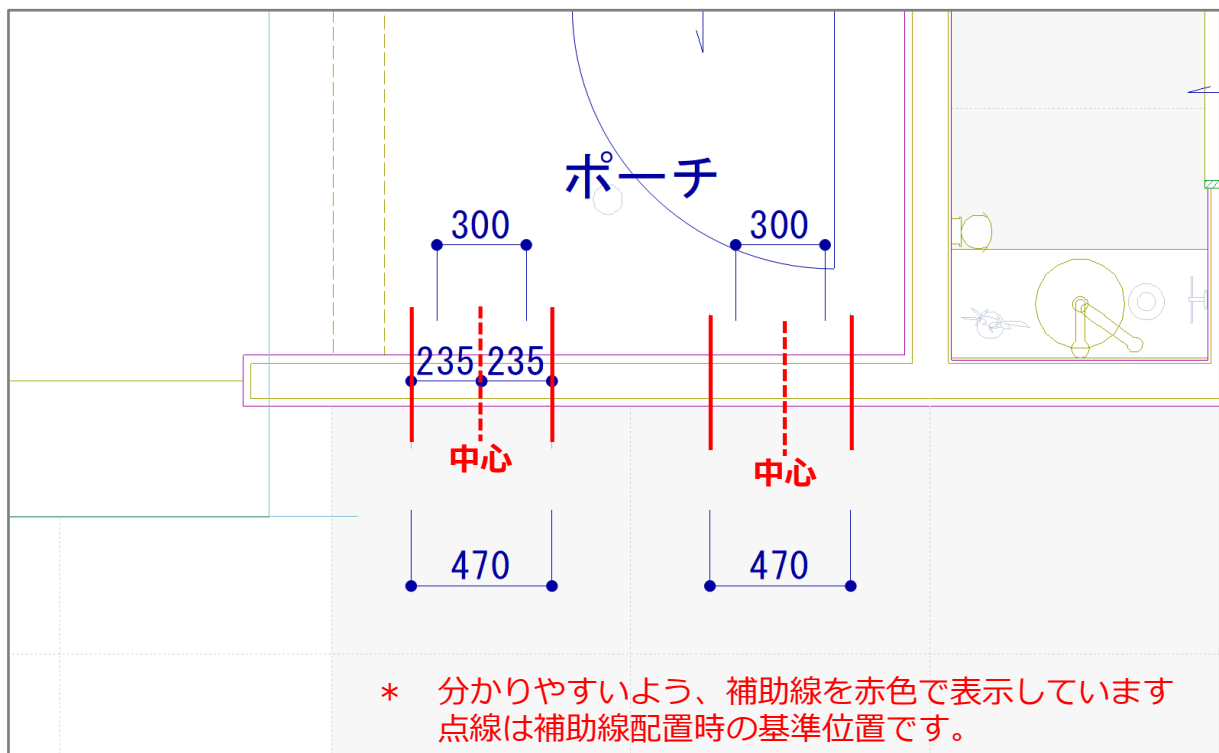


⑤ (補助線)をクリックし、開口する位置に補助線を配置

* 300 (開口幅) + 170 (壁厚) = 470 間隔で補助線を配置します。

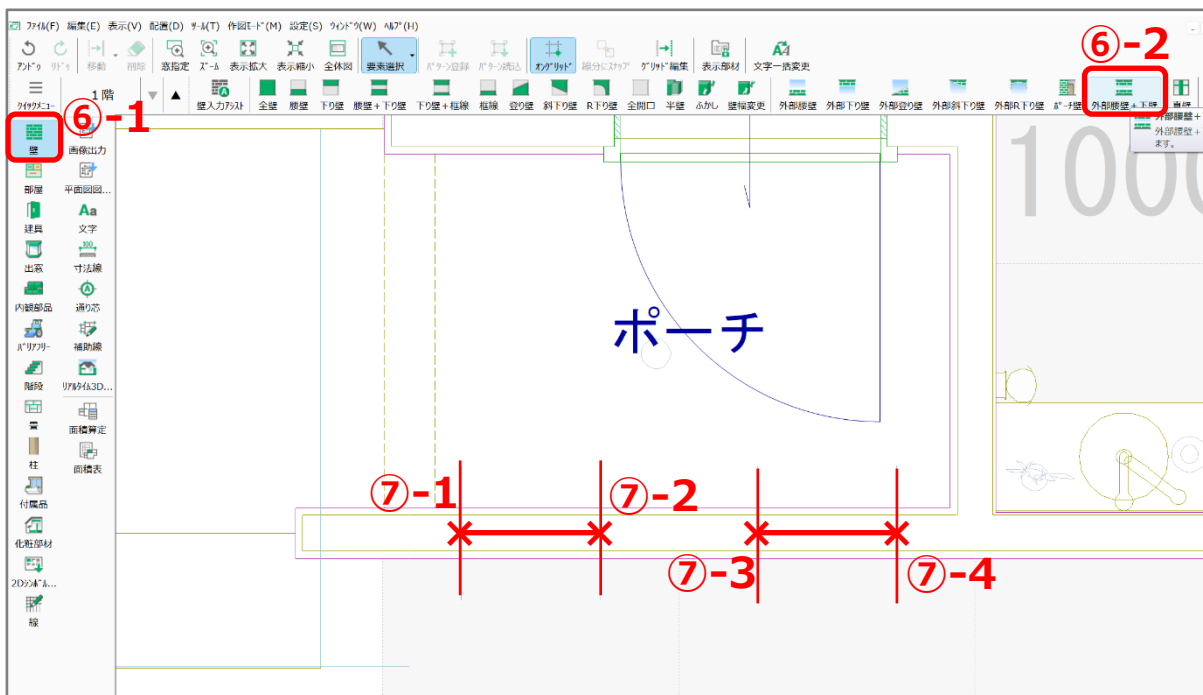
* ここでは、開口の中心位置にスナップするため、中心位置からそれぞれ左右に「235」mm 離れた位置に補助線を配置します。

$$235\text{mm} = 470\text{mm} (\text{開口幅} + \text{壁厚}) / 2$$



⑥ (壁)をクリックし、 (外部腰壁+下壁)をクリック

⑦ 操作⑤で入力した補助線上で起点—終点をクリック

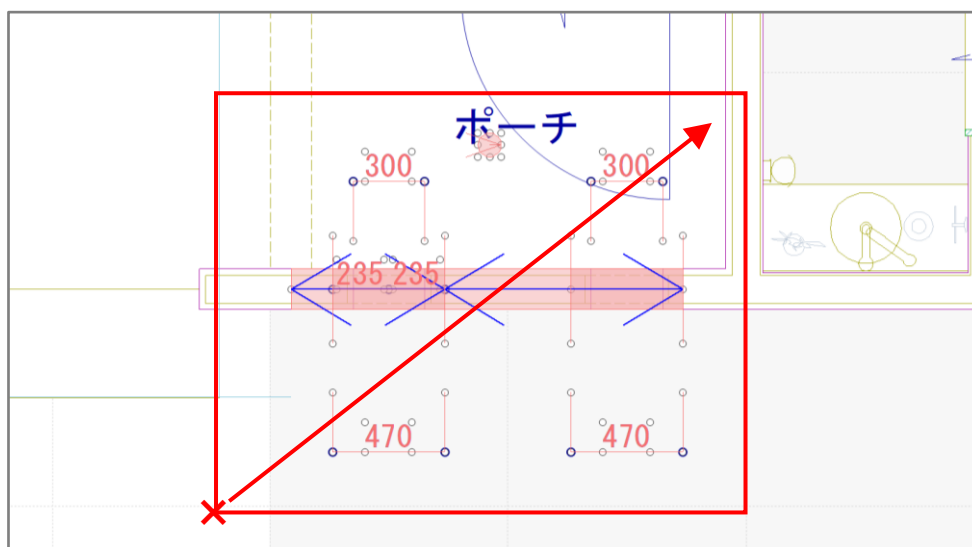


- * ここでは、2か所に入力します。
- * 外部腰壁と外部下り壁が配置されました。

⑧ (要素選択)をクリックし、配置した外部腰壁と外部下り壁が入るよう矩形範囲で選択

- * 要素を囲むようにマウスを対角にドラッグします。
- * 要素上でドラッグすると選択できません。

要素を含まない建物の外側から、外部腰壁と外部下り壁を含むよう矩形で範囲を選択してください。



- * 選択された要素は赤色になります。

⑨ 右クリックメニューの「選択部材編集」をクリック

* 選択部材編集の画面が表示されます。

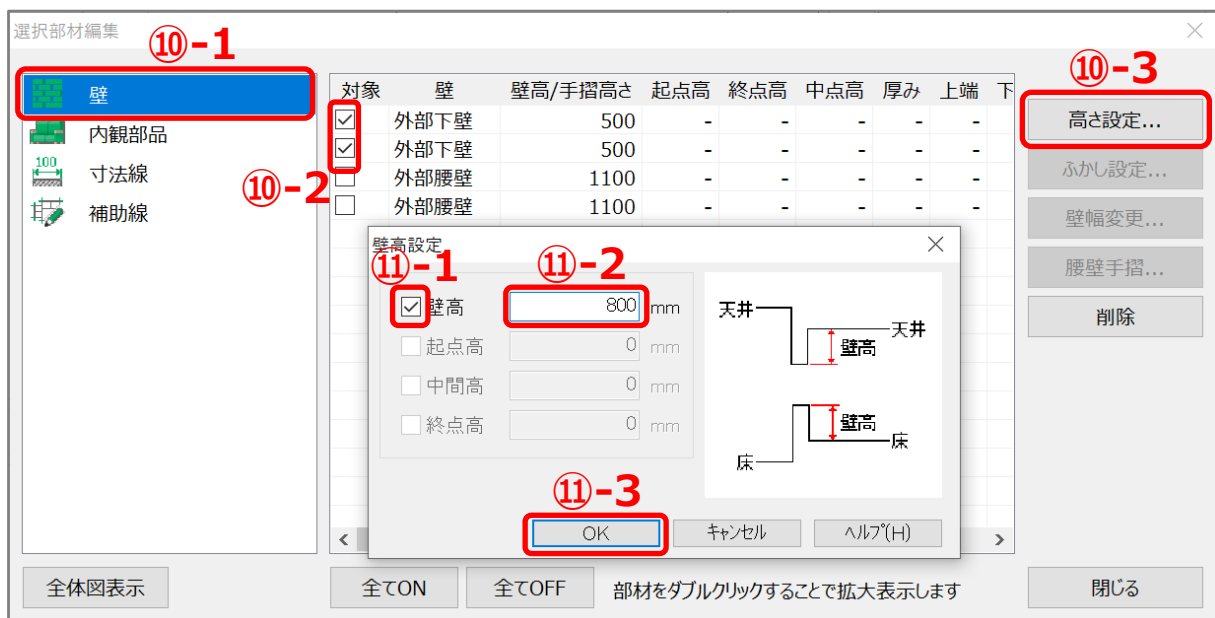


⑩ 「壁」をクリックし、「外部下壁」にチェックを入れ「高さ設定」をクリック

* すべての「外部下壁」にチェックを付けます。

* 壁高設定の画面が表示されます。

⑪ 「壁高」にチェックを入れて「800」mmと入力し、「OK」をクリック



⑫ 「外部下壁」のチェックを外し、「外部腰壁」にチェックを入れ「高さ設定」をクリック

- * すべての「外部腰壁」にチェックを付けます。
- * 壁高設定の画面が表示されます。

⑬ 「壁高」にチェックを入れて「1300」mm と入力し、「OK」をクリック

対象	壁	壁高/手摺高さ	起点高	終点高	中点高	厚み	上端	下
<input type="checkbox"/>	外部下壁	800	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/>	外部下壁	800	-	-	-	-	-	-
<input checked="" type="checkbox"/>	外部腰壁	1100	-	-	-	-	-	-
<input checked="" type="checkbox"/>	外部腰壁	1100	-	-	-	-	-	-

壁高設定

壁高 1300 mm

起点高 0 mm

中間高 0 mm

終点高 0 mm

天井 天井

床 床

OK キャンセル ヘルプ(H)

高さ設定...
ふかし設定...
壁幅変更...
腰壁手摺...
削除

閉じる


⑭ 「閉じる」をクリック

- * 選択部材編集の画面が閉じ、設定した高さが反映します。

⑮ (3D パース)を起動して確認。



【参考】 3D パースで壁の高さを変更

 (3D パース)で外部腰壁の笠木や外部下り壁の水切りをダブルクリックすると「壁高さ変更」の画面が表示され、壁の高さを変更できます。

